



山口 碧海くん  
「くるま大好き!」  
(山田)



三上 楓月ちゃん  
「おしゃべり大好き!!」  
(下影森)



町田 梅果ちゃん  
「絵本が大好き♥」  
(下宮地町)



川田 空澄くん  
「ほしいも大好き!」  
(東町)



### 応募方法

1~1歳半程度の市内在住のお子さんの写真を同封し、住所・保護者の氏名・電話番号・お子さんの氏名(ふりがな)・性別・生年月日・コメントを明記の上、秘書広報課までご応募ください。(メールの場合は、件名に「わが家のアイドル」、本文に必要事項を入力し、500KB以上の画像を添付の上、[hisyo@city.chichibu.lg.jp](mailto:hisyo@city.chichibu.lg.jp)まで) 抽選に漏れた方も、2歳になる月まで再抽選します。

※携帯電話のカメラで撮影する場合は、サイズを2M(1080×1920)以上に設定してください。

夢をかなえる 未来にはばたく

## 秩父地域の高校

### 模擬投票と募金活動を実施

(秩父高校)

#### 秩父の将来を支える「主権者」を目指して

9月18日に、「主権者教育」を開催し、県と秩父市の選挙管理委員会の方から講義をいただいた後、模擬投票を行いました。

講義では、選挙と投票することの意味、特に若者の投票率が低いという現状から、自らが選挙権行使して意思を表明することの必要性を学習しました。若者の投票率が低いということは若者の意見が反映されないということにもつながりかねない現状を知りました。

模擬投票では実際に投票に使われる投票用紙、投票箱等を準備し、まさに本番そのもののように投票を体験しました。架空の3人の候補者の選挙公報を見て投票するな

ど、意義深い経験となりました。選挙で投票することはもちろん、秩父地域の将来の担い手として投票される側になる生徒が出てきてほしいと思います。

#### 「北海道胆振東部地震」へ支援金

来年度に北海道への修学旅行を控えた1年生が、9月28日、10月1日の2日間で校内の生徒や教職員を対象に募金活動を行いました。校内のささやかな活動ですが、生徒たちは被災地の方々に少しでも役立ててほしいという気持ちで取り組んでいました。



## 市民文芸

短  
歌

卒寿過ぐる吾より先に逝きし子の悲しみ救う曾孫の笑顔  
天災に遭はれし人らの苦しみを思ひつつ謝すけふの平穏

敬老会感謝状受く吾が身には過分に思うも喜びのわく  
うきうきと孫の手解きメモリつつメールを習う傘寿の挑戦

朝霧の白くたゆとう武甲嶺に始発電車は警笛鳴らす

足指でグーチョキパーをしていたらなぜか体がぱかぱかしてきた

産室の小さなベッドに寝かされた吾の手握る初孫の君

萩の花山懐にほつほつと風の音なく葉のひるがえる  
同じ顔日々見ていると飽きちやうと夫は言いおりお互いさまね

**(評)** 町田さん、幼子の笑顔を見て癒やされた様子が存分に伝わってきます。小泉さん、感謝の気持ちを持つことは大切なことです。竹村さん、お人柄を感じさせる作品です。関根さん、すてきな先生なのですね。山口さん、さあ、一日が始まるぞ、という気迫が伝わってきます。浅賀さん、猛暑続きの日々が、たちまち寒さを感じる季節になってしまったという下の句に実感がこもっています。加藤さん、足指でグーチョキパーをする。健康保持の秘訣なのですね。江原さん、作者の喜びが伝わってくる一首です。濱田さん、情景が見えるような詩情を感じます。木村さん、お二人がとても仲の良いことを感じさせてくれる一首です。

※次回12月号は俳句を掲載します

綾部 光芳 選  
下宮地町 町田 要子  
番場町 山口 小泉富美子  
柄谷 竹村善三郎  
上吉田 富江  
下影森 浅賀ツネ  
大畑町 加藤しげ子  
上町 江原由美子  
桜木町 木村 一枝  
木村 関根正子  
日野田町 濱田 秀典  
上町 滝田  
大畠町 江原由美子  
木村 一枝  
木村 関根正子  
日野田町 濱田 秀典  
上町 滝田  
大畠町 江原由美子  
木村 一枝  
木村 関根正子

短歌、俳句の応募は、住所・お名前(ふりがな)を明記の上、必ず官製はがきで秘書広報課までお送りください。1通に2首または2句まで、各1通までです。

短歌 11月19日(月)締切→1月号に掲載  
俳句 12月末締切→2月号に掲載

わが家のアイドル・市民文芸への応募は、市役所秘書広報課(〒368-8686 熊木町8-15)へ

なお、掲載した内容は、市ホームページでも公開します。